

救 急



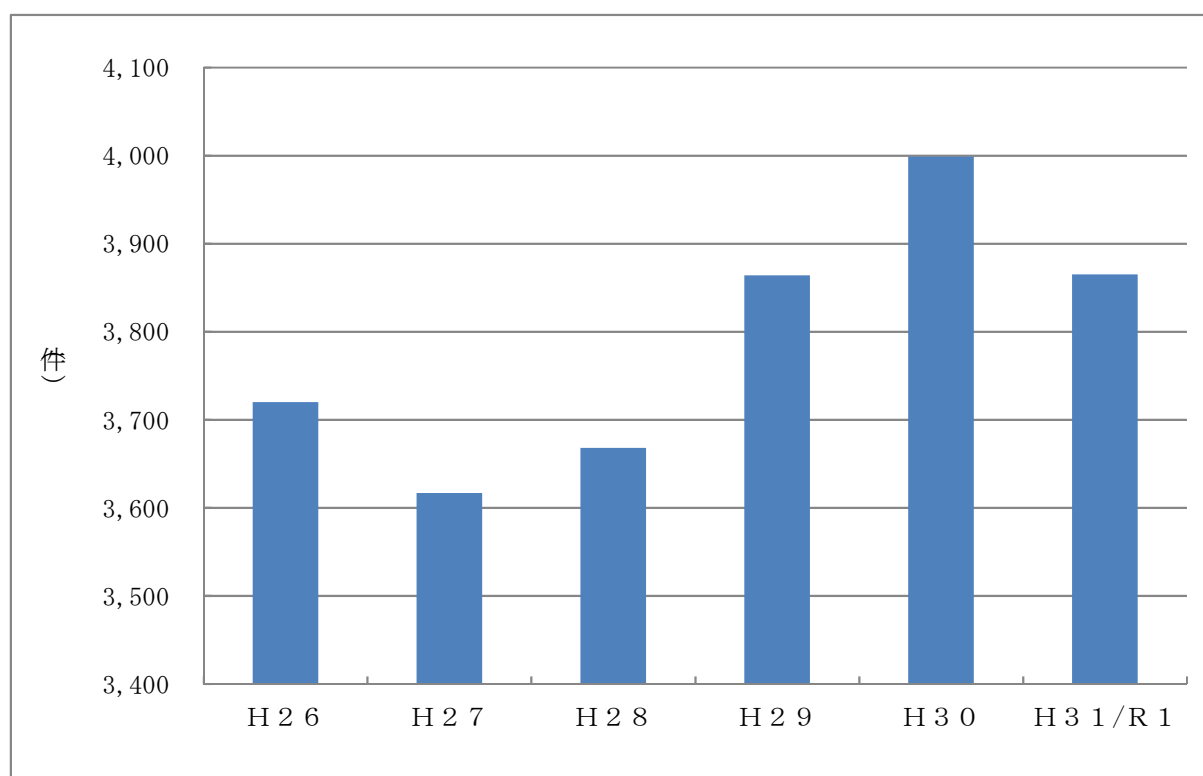
西分署新庁舎と高規格救急車

救急業務の推移

平成31年/令和元年中の横手市における救急出動件数は3,865件で3,681人を医療機関に搬送した。これを前年と比較すると件数で134件、搬送人員148人の減少となった。前年比で有意な増減はないが、人口減少のなか、救急搬送の可能性が高い高齢者人口は減少しないため、今後しばらく救急件数は横ばいとなる見通しとなっている。

5年前との比較でみると出動件数は145件の増加、搬送人員は141人の増加となっている。

第1図 救急出動件数の推移



第1表 救急出動件数及び搬送人員の推移

	出動件数	前年比	搬送人員	前年比
平成26年	3,720	-8	3,540	+83
平成27年	3,617	-103	3,485	-55
平成28年	3,668	+51	3,507	+22
平成29年	3,864	+196	3,704	+197
平成30年	3,999	+135	3,829	+125
平成31年 令和元年	3,865	-134	3,681	-148

救急業務の実施状況

(1) 救急出動状況及び搬送人員

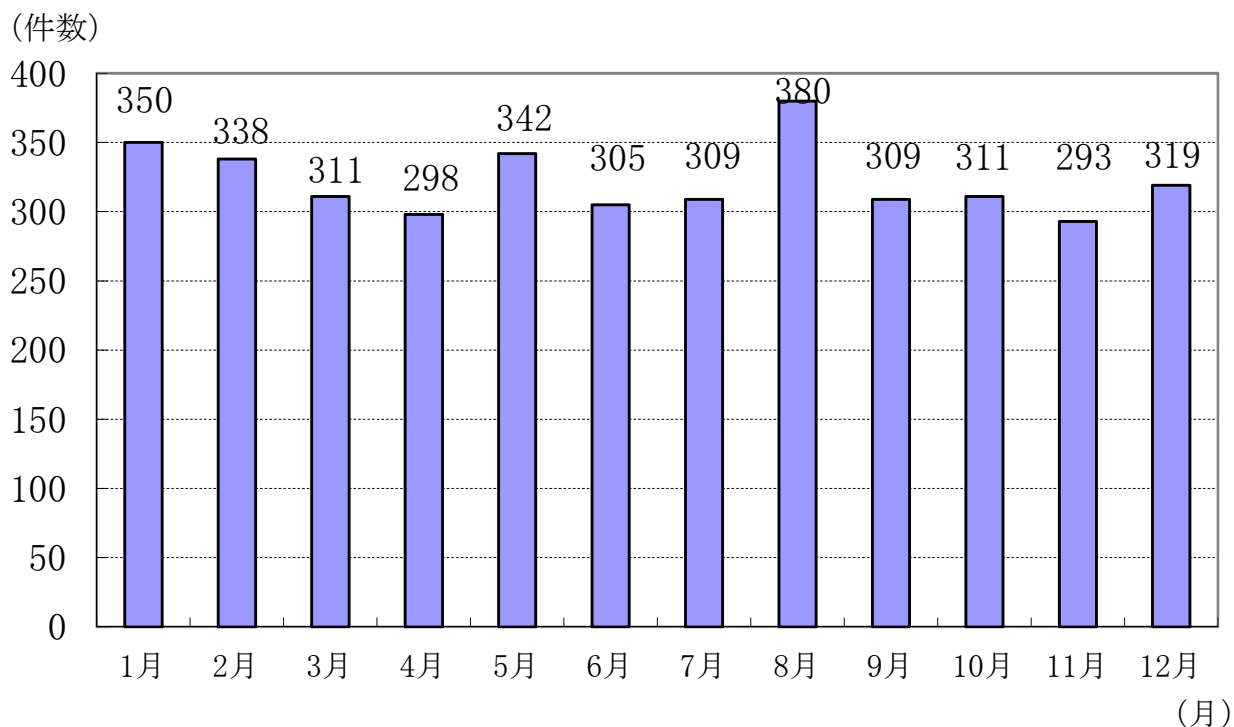
平成31年/令和元年中の出動件数は3,865件で1日平均10.6件、搬送人員は、3,681人で管内人口88,801人（令和元年12月31日現在）のうち概ね24.1人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。事故種別出動件数では、急病が2,651件（68.6%）、一般負傷550件（14.2%）、転院搬送301件（7.8%）の順で上位を占めている。

地域別の救急出動件数は、横手1,633件（前年1,639件）、平鹿499件（前年516件）、十文字485件（前年536件）、雄物川370件（前年405件）、増田332件（前年302件）、大森230件（前年261件）、山内166件（前年170件）、大雄149件（前年169件）、管外への出動1件（前年1件）の順となっている。

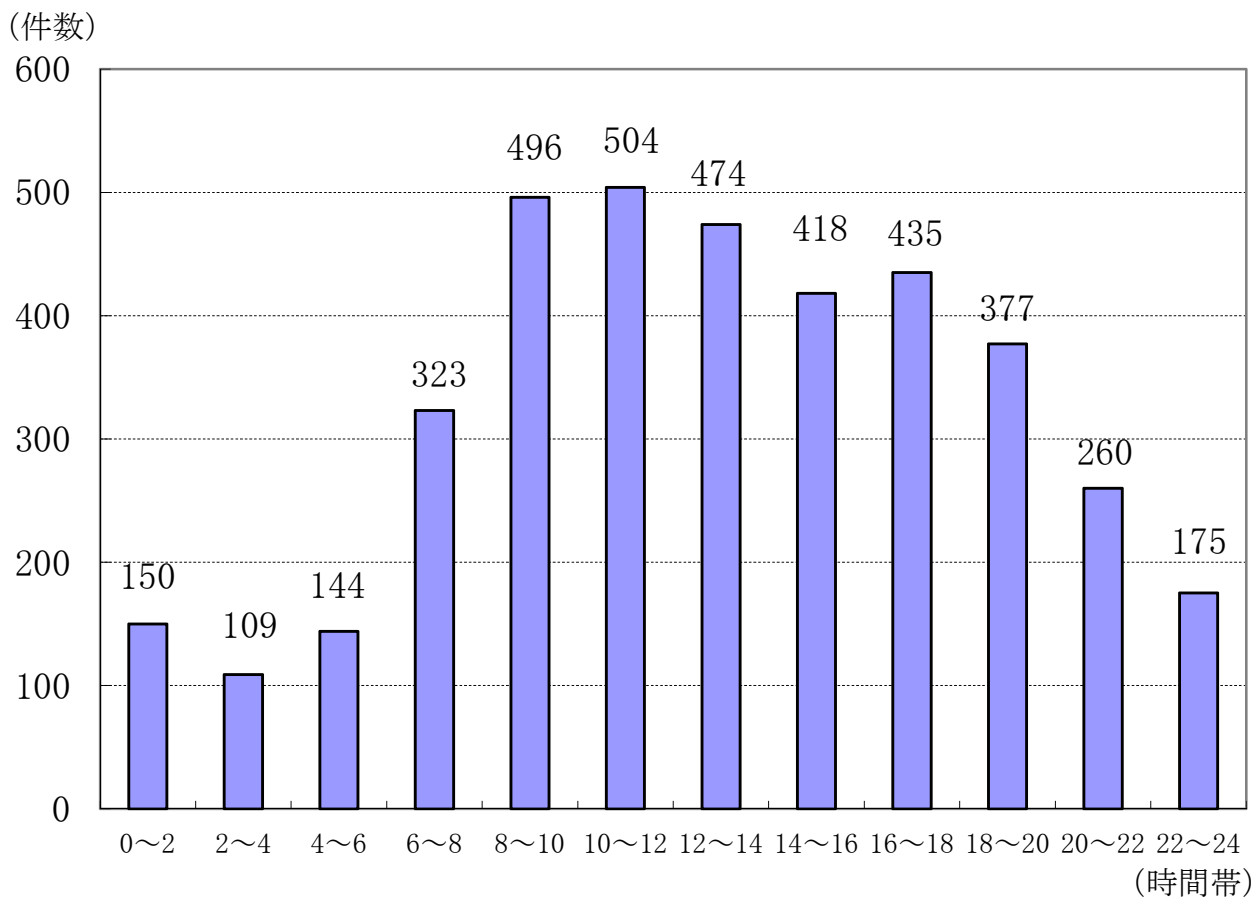
第2表 救急出動の概要

	平成30年	平成31年/令和元年
管内人口	90,324人	88,801人
出動件数	3,999件	3,865件
搬送人員	3,829人	3,681人
1日あたりの出動件数	11.0件	10.6件
1日の最多出動件数	25件	23件
人口1万人あたりの出動件数	442.7件	435.2件
管内人口／搬送人員	23.6人に1人	24.1人に1人
救急出動最多事故種別	急病	急病
救急出動最多月	8月	8月
救急出動最多曜日	月曜	木曜
救急出動最多時間帯	8時～10時	10時～12時

第2図 月別救急出動件数（平成31年/令和元年）

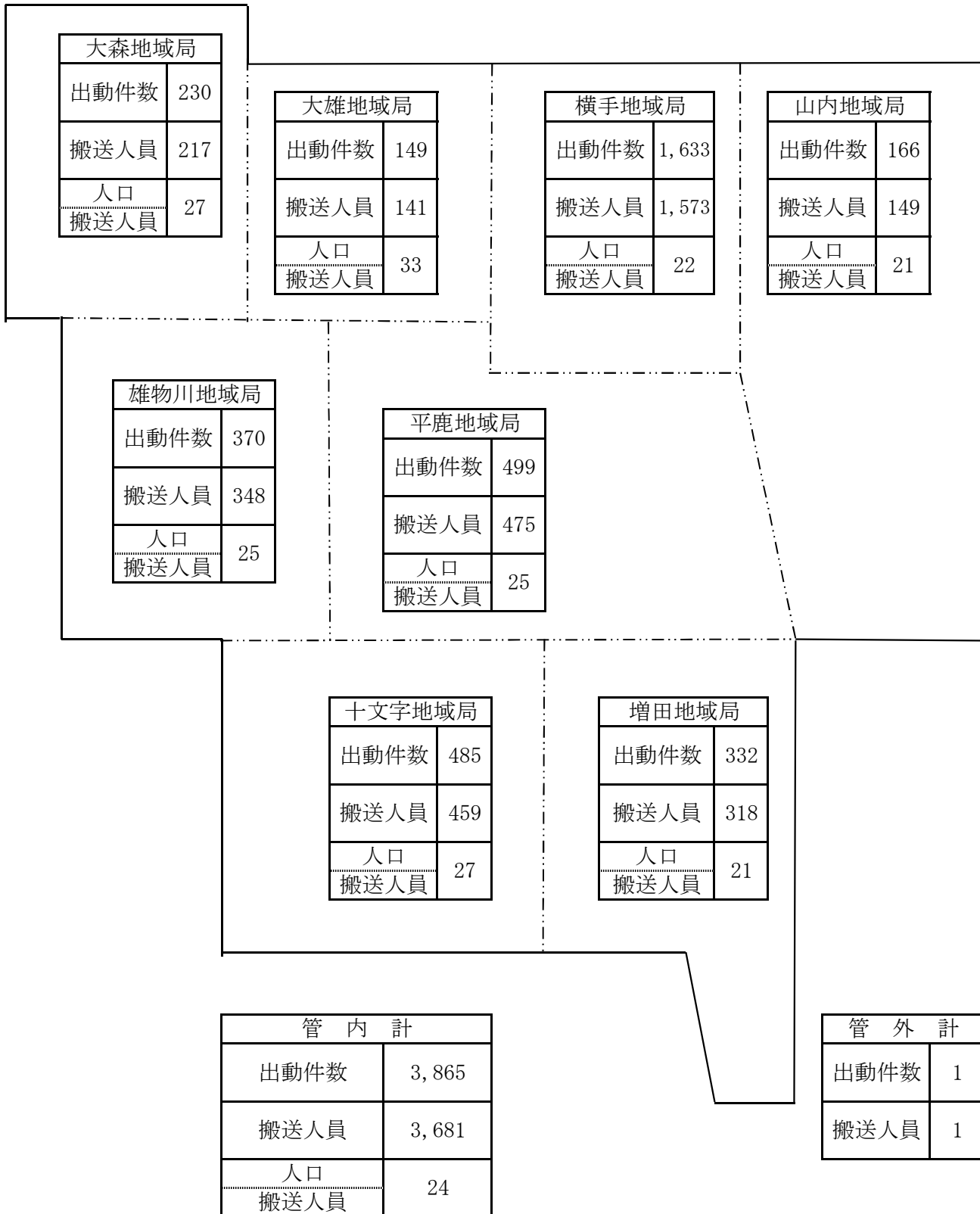


第3図 時間帯別救急出動件数（平成31年/令和元年）



第4図 地域別救急出動件数及び搬送人員

(平成31年/令和元年中)



(2) 傷病程度及び年齢別搬送人員の状況

平成31年/令和元年中の搬送人員は3,681人で傷病程度状況は、死亡159人（全体の4.3%）、重症641人（同17.4%）、中等症1,447人（同39.3%）で、これらをあわせた傷病者の割合は全体の61.0%にあたる。一方で入院加療を必要としない軽症者の割合は39.09%と高い数値になっている。

また、年齢別では65才以上の年齢層が2,653人と全体の72.1%を占めており高齢化社会の影響により高年齢層の救急搬送人員の割合が高くなっている。

第3表 傷病程度別搬送人員

	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送・その他
計	3,681	6			234	39	19	533	7	18	2,528	297
死亡	159				3	1		24		7	122	2
重症	641				18	6	2	73	2	3	436	101
中等症	1,447	3			47	20	8	213		5	983	168
軽症	1,434	3			166	12	9	223	5	3	987	26
その他												
備考	<ul style="list-style-type: none"> ○死亡 初診時において、死亡が確認されたもの。 ○重症 3週間以上の入院加療を必要とするもの。 ○中等症 入院を必要とするもので重症に至らないもの。 ○軽症 入院を必要としないもの。 ○その他 医師の診断がないもの。 											

第4表 年齢別搬送人員

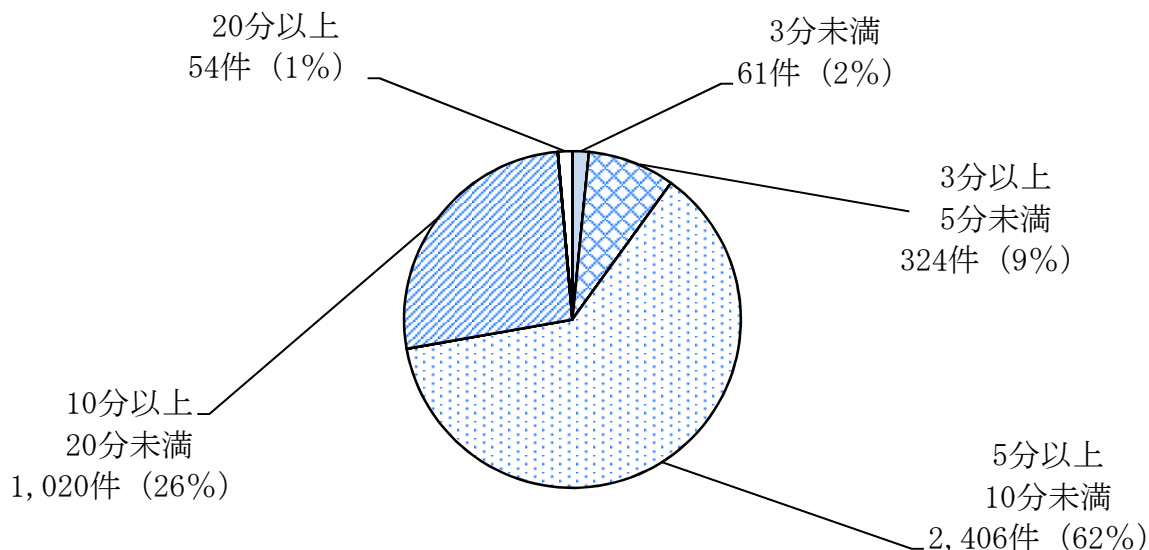
	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送・その他
計	3,681	6			234	39	19	533	7	18	2,528	297
新生児	8										1	7
乳幼児	110				7			7			78	18
少年	88				19		13	8	1		40	7
成人	822	3			131	27	4	106	5	9	462	75
高齢者	2,653	3			77	12	2	412	1	9	1,947	190
備考	<ul style="list-style-type: none"> ○新生児 生後28日未満の者 ○乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者 ○少年 満7歳以上満18歳未満の者 ○成人 満18歳以上満65歳未満の者 ○高齢者 満65歳以上の者 											

(3) 現場到着所要時間

平成31年/令和元年中の救急出動件数3,865件を現場到着所要時間別（覚知から現場に到着するまでに要した時間）にみると、5～10分未満が2,406件で最も多く、全体の62%を占めている。

なお、平均現場到着所要時間は8.7分（前年8.7分）となっている。

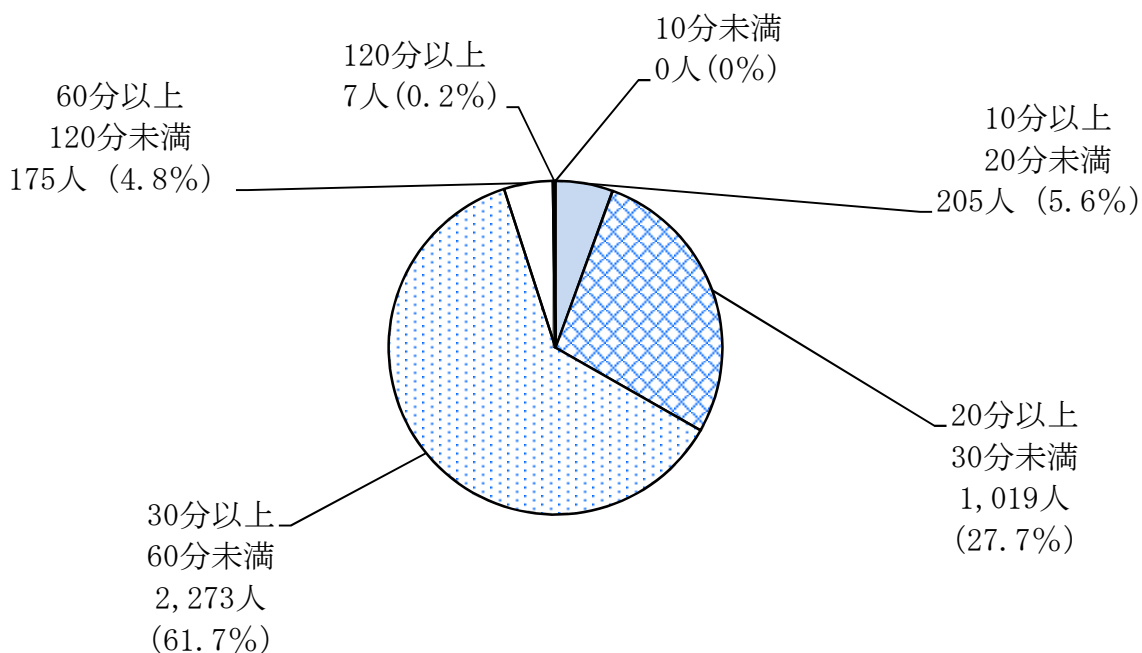
第5図 現場到着所要時間の状況



(4) 医療機関収容所要時間

平成31年/令和元年中の救急自動車による搬送人員3,681人についての収容所要時間（覚知から医療機関に到着し医師引継ぎまでの時間）の状況は、30分以上60分未満が2,273人（62%）で最も多く、次いで20分以上30分未満の1,019人（27.7%）となっている。

第6図 医療機関収容所要時間別搬送人員の状況



(5) 救急隊員の行った応急処置等の実施状況

(平成31年/令和元年中)

平成31年/令和元年中の搬送人員3,681人のうち、救急隊員が応急処置を行った傷病者は3,639人(搬送人員の98.9%)となっている。

平成19年7月から運用開始されている、認定救命士によるアドレナリン投与は25件実施されており、前年30年の23件と比べると2件増加している。

なお、平成26年4月から追加された心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液は17件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与は4件が認定救命士により実施されている。

第5表 事故種別ごとの応急処置実施数

応急処置	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
止血	血	16	8	48	8	80
被覆	覆	13	29	90	20	152
固定	定	5	79	35	13	132
保温	温	27	2	7	5	41
酸素吸入	吸入	842	18	83	120	1,063
人工呼吸	呼吸	26		5		31
胸骨圧迫	圧迫			2		2
心肺蘇生	蘇生	131	4	33	12	180
在宅療法継続	継続	136		8	24	168
血圧測定	測定	2,345	224	491	294	3,354
心音・呼吸音聴取	聴取	1,134	89	110	56	1,389
血中酸素飽和度測定	測定	2,412	230	500	329	3,471
心電図測定	測定	1,627	69	152	137	1,985
気道確保	確保	255	4	45	15	319
(うち経鼻エアウェイ)						
(うち喉頭鏡、鉗子等)		11		5		16
(うちラリングアルマスク等)		1				1
(うち気管挿管)		1		2		3
除細動	動	12		1	1	14
静脈路確保(CPA前/後)	確保	59	4	20	10	93
薬剤投与	投与	15	3	6	1	25
ブドウ糖投与	投与	4				4
その他の処置	処置	2,241	144	403	203	2,991

住民に対する応急手当の普及状況

救急隊の要請から現場に到着するまでに要する時間は、平成31年/令和元年中の平均が8.7分であった。この間、一般市民による応急手当が適切に実施されれば大きな救命効果が得られることから、住民に対する応急手当の知識と技術の普及を目的に、救命講習会やインターネットを活用したeラーニングによる普及啓発活動を積極的に進めている。

平成6年より実施した普通救命講習の受講者は延べ45,431人に達している。

(令和2年3月末現在)

第6表 講習会実施状況

年別	上級救命講習		普通救命講習		入門コース		その他の講習		計	
平成23年	2回	58人	81回	1,772人			25回	742人	108回	2,572人
平成24年	2回	57人	111回	2,235人	8回	301人	32回	1,655人	153回	4,248人
平成25年	1回	26人	85回	1,459人	11回	347人	29回	1,199人	126回	3,031人
平成26年	1回	30人	84回	2,016人	20回	438人	25回	697人	130回	3,181人
平成27年	1回	33人	81回	1,646人	30回	652人	13回	284人	125回	2,615人
平成28年	1回	24人	70回	1,694人	25回	629人	19回	869人	115回	3,216人
平成29年	1回	30人	65回	1,635人	29回	783人	29回	773人	124回	3,221人
平成30年	1回	26人	55回	1,298人	29回	606人	35回	752人	120回	2,682人
平成31年 令和元年	1回	25人	59回	1,409人	32回	665人	22回	473人	114回	2,572人

※入門コースは平成24年度から開催

第7図 心肺停止傷病者に対する一般住民の応急手当実施状況

